

令和5年度 基幹型及び在宅介護・地域包括支援センター事業業務報告

事業項目		事業内容	基幹型と在支・包括との業務分担	実施状況	備考
組織・運営体制	事業を適切に運営するための体制構築	市や他センターとの連携、適正な人員配置の促進など事業を適切に運営するための体制を構築	〈基幹型〉 適正な人員配置の確認 市と各在宅介護・地域包括支援センターの情報や対応の方向性を揃えるため定期的な連絡会の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・年度当初(4月)に、各法人が市に提出する人員配置表で、適正な人員配置を確認している。配置状況は資料8-2 1ページ参照 ・毎月第3金曜日に、市と在宅介護・地域包括支援センターにて、定期的に連絡会議を実施している。 	
	職員の確保・育成	職員研修の実施、研修への参加等職員の資質の向上に向けた取組を実施	〈基幹型〉 在宅介護・地域包括支援センター職員研修として、定期的な研修会の開催企画・実施	在宅介護・地域包括支援センター職員対応力向上研修会を開催した。 第1回 令和5年5月30日(火) 参加人数 49人 オンライン開催 内容:『武蔵野市の福祉について、令和5年度 基幹型及び在宅介護・地域包括支援センター運営方針並びに事業計画』 第2回 令和5年7月27日(木) 参加人数 44人 オンライン開催 内容:『虐待対応研修』 第3回 令和5年11月21日(火) 参加人数 41人 オンライン開催 内容:『令和5年度 健康長寿のまち武蔵野推進月間 実施報告、ゴーヤのカーテンお助け隊 活動報告、聴こえの支援について、高齢者の難聴と補聴器の上手な活用方法』 第4回 令和6年3月14日(木) 参加人数 44人 集合 内容:『カスタマーハラスメントについて -在支・包括、市役所の業務を遂行するために気をつけておくこと-』	
	利用者が相談しやすい相談体制の構築	夜間・休日の相談対応を実施	〈在支・包括〉 夜間・休日の相談対応	平日夜間及び休日は事務所は休みだが、電話が転送され相談対応を実施した。	

事業項目		事業内容	基幹型と在支・包括との業務分担	実施状況	備考
	利用者が相談しやすい相談体制の構築	基幹型及び在宅介護・地域包括支援センターを市民に周知	<p><基幹型> 市 HP 活用や配布物を利用した全市的な周知</p> <p><在支・包括> 主に担当エリアへ周知</p>	<p><基幹型> 市 HP、高齢者サービスの手引き及びエンディングノートにおける記載、在支・包括のチラシ等で全市的に周知している。</p> <p><在支・包括> 独自チラシ等で、主に担当エリアへ周知している。</p>	
個人情報	個人情報の保護	個人情報管理体制を構築し、個人情報を適切に管理	<p><基幹型> 庁内の個人情報、情報セキュリティ研修の実施 各在宅介護・地域包括支援センターの個人情報管理体制・研修の確認</p> <p><在支・包括> 各法人の個人情報、情報セキュリティに則った研修会を実施(年1回)</p>	<p><基幹型> 庁内の個人情報、情報セキュリティ研修を実施した。 各在宅介護・地域包括支援センターの個人情報管理体制・セキュリティ研修を実施した。</p> <p><在支・包括> 各法人の個人情報及び情報セキュリティの規則に則って、研修会を少なくとも年1回、または、各法人の規定に則った回数、実施している。</p>	
利用者満足	利用者満足度の向上	苦情に対する対応や苦情内容の記録報告の体制を整備	<p><基幹型> 苦情に対する対応や苦情内容の記録報告の体制を整備</p> <p><在支・包括> 各法人の苦情相談対応の規則に従った体制整備</p>	<p><基幹型> 相談記録票を利用して、記録を残した。</p> <p><在支・包括> 各法人の苦情相談対応の規則に従った体制を整備している。</p>	

事業項目		事業内容	基幹型と在支・包括との業務分担	実施状況	備考
利用者満足 の向上	相談者のプライバシーの確保	相談時にプライバシーに配慮した環境を確保	<基幹型> 相談時にプライバシーに配慮した環境を確保 <在支・包括> 相談時にプライバシーに配慮した環境を確保	<基幹型><在支・包括> 相談室を使用して、プライバシーに配慮した環境を確保している。	

事業項目		事業内容	基幹型と在支・包括との業務分担	実施状況	備考
総合相談 支援	地域における関係機関・関係者のネットワーク構築	地域ネットワーク構築にむけた社会資源の発見・整備	<p><基幹型> 全市的な関係機関や市内における連携、ネットワークの構築</p> <p><在支・包括> 地域の社会資源の発見とネットワークの構築</p>	<p>・「見守り・孤立防止ネットワーク連絡協議会」への出席 第1回:令和5年8月8日(火)、412 会議室。警察、消防、住宅供給公社、サービス提供事業者、関係機関等の11団体が参加。 第2回:令和5年 12 月 12 日(火)、412 会議室。武蔵野市助産師会が加わり、警察、消防、住宅供給公社、サービス提供事業者、関係機関等の 13 団体が参加。</p> <p>・関係機関が各通常業務の中で、異変の発見、速やかな通報、相談窓口の周知等の取組みに加え、消費者被害・認知症・生活困窮者等の課題に対応するため、「武蔵野市見守り・孤立防止ネットワーク連絡協議会」に出席し、連携体制の強化に向けた情報交換を行っている。</p> <p>・令和2年度までは高齢者支援課が担当だったが、高齢者だけでなく様々な方が地域の中で孤立しないよう見守っていく地域共生社会を推進するため、令和3年度から、それぞれの孤立防止に関する対応や対策については各課が行い、とりまとめる協議会運営は地域支援課が実施することとした。</p> <p>・「武蔵野市成年後見制度利用促進基本計画」(令和2年度～)に基づき、令和2年度から「武蔵野市成年後見制度地域連携ネットワーク連絡協議会」を開催(第1回:令和5年8月2日)。専門職団体、民生委員、各在宅介護・地域包括支援センター、市関係課等の連携を深めた。</p> <p><基幹包括> ・食事サービス事業者との情報交換会を書面で開催。食事サービス提供事業者の状況の把握をし、地域の見守り体制の確認をした。 令和5年 12 月 武蔵野市を配達エリアとする事業者が参加(書面開催)</p> <p><在支・包括> 地域連携に係る会議に出席 資料8-2 11~13 ページ参照</p>	

事業項目		事業内容	基幹型と在支・包括との業務分担	実施状況	備考
総合相談支援	地域における高齢者の実態把握	要介護認定の新規申請者等の実態把握及び台帳作成 介護サービス未利用者の定期的な実態把握	<在支・包括> 実態把握及び台帳作成 介護サービス未利用者の定期的な実態把握	<p>令和5年4月～令和6年3月までの在宅介護・地域包括支援センターの要介護認定調査件数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゆとりえ 634 件 ・吉祥寺本町 257 件 ・高齢者総合センター 946 件 ・吉祥寺ナーシング 346 件 ・桜堤ケアハウス 666 件 ・武蔵野赤十字 343 件 <p>在宅介護・地域包括支援センター 合計 3,192 件</p> <p>・熱中症予防シートを活用した実態把握については以下のとおり。 (内容) ひとり暮らし・高齢者のみ世帯を中心に熱中症予防シートを配布することにより、熱中症への注意を喚起し、室内での熱中症を予防する。あわせて、地域包括支援センター職員等が高齢者の実態把握訪問を行う際の手段として活用し、円滑な実態把握につなげる。</p> <p><配布実績> 民生児童委員 998 枚、ケアマネジャー 910 枚、基幹型地域包括支援センター及び在宅介護・地域包括支援センター等 440 枚、市役所窓口等 20 枚 計 2,368 枚</p> <p>※配布結果についてアンケートを実施 <配布期間> 令和5年4月下旬から9月 30 日まで</p> <p>・サービス未利用者の実態把握については資料8-4参照</p>	

事業項目		事業内容	基幹型と在支・包括との業務分担	実施状況	備考
総合相談支援	相談事例解決のための対応	初期段階での相談対応及び継続的・専門的な相談支援	〈基幹型〉 庁内連携や関係機関との連携対応が必要な場合の連絡調整 〈在支・包括〉 在宅の方の相談支援	引き続き、相談対応については重点をおいて取り組みを実施。相談実人数、相談支援業務延べ数、相談者の区分、相談内容、訪問による相談結果については、資料8-2 2~5ページ参照。	
	家族介護者や複合的課題を有する世帯等への支援	家族介護者の相談支援 複合的な課題に対する関係機関との連携	〈基幹型〉 庁内連携や関係機関との連携対応が必要な場合の相談支援	<ul style="list-style-type: none"> ・家族介護者の相談については、窓口・電話等で対応している。 ・複合的な課題については、内容に応じ、庁内の関係各課及び福祉総合相談窓口と連携している。 	
権利擁護	成年後見制度活用の取り組み	市民に対する成年後見制度の利用促進	〈基幹型〉 武蔵野市福祉公社成年後見利用支援センターと連携して研修会の企画検討 〈在支・包括〉 基幹型と連携して、研修内容の検討	〈基幹型〉〈在支・包括〉 <ul style="list-style-type: none"> ・基幹型と在支・包括の社会福祉士が、月に1回情報交換の場(社会福祉連絡会議)を設けている。 ・今後、社会福祉士連絡会議で、研修の企画を行う。 	
	高齢者虐待への対応	介護サービス事業者及びケアマネジャーに対する虐待に関する研修を実施(年2回)	〈基幹型〉 研修会の方向性及び内容の検討、研修会の開催 〈在支・包括〉 基幹型と連携して、研修内容の検討、研修会の実施	〈基幹型〉〈在支・包括〉 「武蔵野市高齢者虐待防止研修会」 テーマ: 高齢者虐待防止に関する基礎知識と実践について学ぶ 講師 武蔵野市在宅介護・地域包括支援センター社会福祉士 第1回 日時 令和5年 11月 17日(金)午後6時から午後7時30分 オンライン開催 対象者 市内居宅介護支援事業所に所属するケアマネジャー 出席者 76人	

事業項目		事業内容	基幹型と在支・包括との業務分担	実施状況	備考
権利擁護	高齢者虐待への対応			第2回 日時 令和6年1月16日(火)午後6時から午後7時30分 オンライン開催 対象者 市内通所・訪問サービス事業者に所属する職員 出席者 78人	
		市民に対する虐待防止に関する普及啓発を実施	<基幹型> 普及啓発方法の検討 <在支・包括> 基幹型と連携して普及啓発を実施	<基幹型><在支・包括> ・社会福祉士連絡会議を中心に、見守りのチラシを作成し、各在宅介護・地域包括支援センターのイベント等で普及啓発のため配布している。 ・武蔵野市の公式ホームページに掲載。	
		高齢者及び障害者虐待防止連絡会議の実施(年2回)	<基幹型> ・障害者福祉課と共催で開催 ・関係各課や機関とともに、虐待防止の取り組みについて検討 <在支・包括> 会議に出席	【参加団体】武蔵野警察署、多摩府中保健所、地域活動支援センター地域生活支援センターびーと、地域活動支援センターライフサポート MEW、地域活動センターコット、地域自立支援協議会権利擁護部会、武蔵野市福祉公社権利擁護センター、在宅介護・地域包括支援センター、武蔵野市障害者福祉センター、地域支援課、生活福祉課、高齢者支援課、障害者福祉課、健康課、子ども家庭支援センター、 第1回 令和5年7月12日(水) 第2回 令和6年1月30日(火)	
		市民に対する見守り・孤立防止に関する普及啓発の実施(年2回)	<基幹型> ・地域支援課主催の見守り・孤立ネットワーク連絡協議会に出席して関係機関と連携を図る ・普及啓発方法の検討 <在支・包括> 会議に出席	【参加団体】東京都住宅供給公社、都市再生機構、東京都宅地建物取引業協会武蔵野中央支部、多摩新聞販売同業組合武蔵野支部、東京ガス株式会社西部支店、東京電力パワーグリッド株式会社武蔵野支社、武蔵野市シルバー人材センター、武蔵野郵便局及び市内郵便局代表、水道部、武蔵野市居宅介護支援事業者連絡協議会、弁当宅配業者、ヤマト運輸株式会社、生活協同組合コープみらい東久留米センター、生活協同組合パルシステム東京、セブン-イレブン・ジャパン、イトーヨーカ堂、武蔵野市商店会連合会、第一生命株式会社、明治安田生命保険相互会社、ALSOK 総合警備保障株式会社、東都生活協同組合、東京ハイヤー・タクシー協会武三支部、武蔵野警察署、武蔵野消防署、武蔵野市医師会、東京都武蔵野市歯科医師会、武蔵野市薬剤師会、武蔵野市柔道整復師会、武蔵野市助産師会、武蔵野市民生児童委員協議会、武蔵野市民社会福祉協議会、在宅介護・地域包括支援センター、健康福祉部	

事業項目		事業内容	基幹型と在支・包括との業務分担	実施状況	備考
権利擁護		市民に対する見守り・孤立防止に関する普及啓発の実施(年2回)	<p><基幹型></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域支援課主催の見守り・孤立ネットワーク連絡協議会に出席して関係機関と連携を図る ・普及啓発方法の検討 <p><在支・包括></p> <p>会議に出席</p>	<p>各課、防災安全部安全対策課、子ども家庭部子ども家庭支援センター担当、都市整備部住宅対策課、市民部産業振興課</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回 令和5年8月8日(月) ・第2回 令和5年12月12日(火) <p>令和5年度は火災、地震、日常生活における事故を未然に防止し、高齢者などの要配慮者の安全性を図るために、武蔵野消防署と市が「要配慮者を対象とした住まいの防火診断に関する覚書」を締結した。</p>	
	消費者被害防止の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者被害防止、防犯対策を目的とした庁内及び関係機関の連携強化連携会議 ・消費生活センターとの連携 	<p><基幹型></p> <p>会議内容について関係課と調整等。連絡協議会へ出席。消費生活センター主催連携会議出席</p> <p><在支・包括></p> <p>ネットワークを活用した個別支援</p>	<p><基幹型></p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度から消費生活センター相談員が3か月に1回在宅介護・地域包括支援センター連絡会議に出席して、市内で発生している消費者被害について情報提供を行い、参加者に注意喚起を行っている。 ・「安心・安全ニュース」を2か月1回発行して、注意喚起を促している。 ・今後、協議会の開催時には、関係課と会議内容について調整等を行い、出席する。 <p><在支・包括></p> <p>警察からの情報提供を活用し、消費者被害についての注意喚起を、個別に実施している。</p>	
	人生最期等の過ごし方に対する自己決定支援	エンディング(終活)支援	<p><基幹型></p> <p>普及啓発方法の検討</p> <p><在支・包括></p> <p>基幹型と連携して普及啓発の実施</p>	<p>令和3年8月に武蔵野市福祉公社の協力のもと武蔵野市版のエンディングノートを作成し、配布を開始した(令和5年度の配布数:1,285冊)。出前講座の実績(令和5年度の実施数:10回 参加者数:113人)</p>	

事業項目		事業内容	基幹型と在支・包括との業務分担	実施状況	備考
包括的・継続的ケアマネジメント支援	介護支援専門員支援体制の構築	主任介護支援専門員研修会開催(年1回)・介護支援専門員研修会開催(年1回)	<基幹型> 研修企画・開催	○令和5年度武蔵野市主任介護支援専門員研修 兼 令和5年度武蔵野市介護支援専門員研修 内容:「適切なケアマネジメント手法～基礎的な理解を深めるために～」 －基礎ケアの実践編－ (すみだケアマネジャー連絡会・武蔵野市合同研修) 講師: 国際医療福祉大学大学院 教授 石山 麗子 氏 ・第1回(講義) 開催日時:令和5年7月28日(金)午前9時30分から午前11時30分 開催方法:オンライン開催 参加者:92人 ・第2回:(講義及びグループワーク) 開催方法:オンライン開催 開催日時:令和5年8月10日(木)午後3時から午後5時 参加者:84人 この後、令和5年度地区別ケース検討会(8月から12月)でこの実践研修を行った。	
	介護支援専門員に対する相談対応	困難事例に対する相談支援	<基幹型> 課題解決のため、多機関と連携・調整 <在支・包括> ケアマネジャーと連携した個別支援	<基幹型> 庁内関係各課、他機関等との連携や調整を行い、在宅介護・地域包括支援センターが行うケアマネジャー支援がより円滑に進められるよう体制づくりを行う。 <在支・包括> ケアマネジャーが担当する個別事例について相談を受けるだけでなく具体的な支援も行っている。	
地域ケア会議	個別課題や地域課題解決のための、関係者との連携による地域ケア会議の開催	ケアプラン指導研修の実施(年12回 個別ケース約120件)	<基幹型> 会議・研修の運営 <在支・包括> 委員として出席	介護支援専門員から提出されたケアプランをもとに基幹型地域包括支援センター、在宅介護・地域包括支援センターの主任介護支援専門員等、武蔵野市住宅改修・福祉用具相談支援センターに所属する専門職(PT、OT、ST、排泄ケア専門員)、基幹相談支援センター(障害者福祉課)、保険者等により「ケアマネジメントの質の向上」を目的とした会議を開催。会議の結果を事例提出者へ在宅介護・地域包括支援センターの主任介護支援専門員が面接で伝える。	

事業項目		事業内容	基幹型と在支・包括との業務分担	実施状況	備考
地域ケア会議	個別課題や地域課題解決のための、関係者との連携による地域ケア会議の開催	ケアプラン指導研修の実施(年12回 個別ケース約120件)	<基幹型> 会議・研修の運営 <在支・包括> 委員として出席	第1回令和5年4月26日(水) 事例数 8 第2回令和5年5月17日(水) // 10 第3回令和5年6月14日(水) // 11 第4回令和5年7月12日(水) // 9 第5回令和5年8月2日(水) // 14 第6回令和5年9月5日(水) // 12 第7回令和5年10月4日(水) // 12 第8回令和5年11月8日(水) // 13 第9回令和5年12月6日(水) // 9 第10回令和6年1月10日(水) // 10 第11回令和6年2月14日(水) // 10 第12回令和6年3月13日(水) // 3 合計 121 事例(ケアマネジャー116 人、41 事業所)	
		地区別ケース検討会における事例検討の実施(年30回 センターごとに年5回)	<基幹型> 地区別ケース検討会の開催支援 <在支・包括> 地区別ケース検討会の開催	令和5年8月から12月の5回の地区別ケース検討会で武蔵野市主任介護支援専門員研修兼武蔵野市介護支援専門員研修を個別事例の検討の代替として実施しており、個別事例の検討については実施目標とせず、以下の3事例のみ実施した。 <u>ゆとりえ(東部第1)</u> ① 令和6年1月18日(木) 事例検討『認知症が疑われる独居高齢者の支援体制を考える』 ～地域・介護サービス事業者と共に～ ② 令和6年2月22日(木) 事例検討『認知症があるが自宅で住み続けるための支援』 <u>吉祥寺本町(東部第2)</u> ① 令和6年2月21日(水) 事例検討『経済的に課題のあるターミナルケースの支援について考える』	

事業項目		事業内容	基幹型と在支・包括との業務分担	実施状況	備考
地域ケア会議	個別課題や地域課題解決のための、関係者との連携による地域ケア会議の開催	個別地域ケア会議の開催(年18回 センターごとに年3回)	<基幹型> 開催内容の検討・整理 <在支・包括> 会議開催	資料8-3 2~4、6~8、10~14、17~20、23~26、28~30ページ参照	
		エリア別地域ケア会議の開催(年6回 センターごとに年1回)	<基幹型> 開催支援 <在支・包括> 会議開催	資料8-3 5、9、15~16、21~22、27、31~32ページ参照	
	全市的地域ケア会議への出席(年1回)	<基幹型> 会議に出席 <在支・包括> 会議に出席	武蔵野市在宅医療・介護連携推進協議会 多職種連携推進・研修部会 研修会に出席 日 時:令和6年2月6日(木)午後7時30分から午後8時30分まで 場 所:武蔵野スイングビル スカイルーム 内 容:「災害時における医療と介護の連携」 参加者:武蔵野市医師会、歯科医師会、薬剤師会等医療関係者及び各サービス事業所連絡会より50名		
個別事例や地域課題解決に向けた地域ケア会議の活用	個別地域ケア会議及びエリア別地域ケア会議における記録の作成および状況確認	<基幹型> 計画・報告様式を作成 在支・包括に情報提供 <在支・包括> 計画書、会議録等の作成。事例検討後3か月を目途に状況確認	<ul style="list-style-type: none"> 在宅介護・地域包括支援センターは、地域ケア会議4週間前を目処に地域ケア会議計画書を基幹地域包括支援センターに提出する。 提出された計画書をもとに支援の方向性や会議の進行等について、必要時、基幹型地域包括支援センターと在宅介護・地域包括支援センターで打合せを行う。 会議開催後は議事録作成し、基幹型地域包括支援センターに提出。地域ケア会議開催後3か月を目処に状況を確認。 		

事業項目		事業内容	基幹型と在支・包括との業務分担	実施状況	備考
介護予防 ケアマネジメント	介護予防ケ アマネジメント・介護予防 支援の取組	要支援認定者・ 総合事業対象 者のサービスの 質の担保 ・介護予防個別 検討会議の実施 (サービス利用 全ケース)	〈基幹型〉 ・サービス利用の要支 援認定者・総合事業対 象者全員の介護サービ スプランの検討 ・介護予防ケアマネジメ ント・介護予防支援の委 託事業所の支援	ケアプラン作成件数等については資料8-2 9ページを参照	
在宅医療 ・介護連携	在宅医療・介 護連携に向 けた取組	「脳卒中地域連 携パス」等多職 種連携ツールの 検証や活用する 方策の検討	〈基幹型〉 地域支援課と連携して 方策を検討 〈在支・包括〉 基幹型と連携して方策 を検討	・医療介護関係者の情報共有の支援として、ICT連携部会に出席し、多職種 連携のためのツールの活用方法や現状における課題について意見交換、課 題解決のための検討を行った。 ○第1回令和5年8月23日(水)午後7時～午後8時30分オンライン ○第2回令和5年10月31日(火)午後7時～午後8時30分オンライン ○第3回令和5年11月15日(水)午後7時～午後8時30分オンライン ○第4回令和6年1月31日(水)午後7時～午後8時30分オンライン 脳卒中地域連携パス運用実績 66件	
		在宅医療介護 連携支援室と協 働した医療介護 連携の取組推 進	〈基幹型〉 ・在宅医療介護連携支 援室と連携・調整し、相 談に対応 ・在宅医療介護連携推 進協議会に出席 〈在支・包括〉 医療介護連携に関する 相談機能を強化	・武蔵野市在宅医療介護連携支援室における令和5年度活動実績の相談件 数 201 件のうち、基幹型及び在宅介護・地域包括支援センターからの相談は 42 件であった。また武蔵野市在宅医療介護連携支援室が相談、支援のため訪 問した 121 件のうち、基幹型及び在宅介護・地域包括支援センターに訪問した 件数は 22 件であった。 ・武蔵野市在宅医療・介護連携推進協議会に出席。医師会、歯科医師会、薬 剤師会、医療機関等の医療関係者、居宅介護支援事業者、通所介護事業者 等介護事業所関係者、在宅介護・地域包括支援センター職員、福祉公社、行 政職員などで構成されている。武蔵野市での医療と介護の共通する課題の抽 出や課題解決に向けた取り組みの検討を行った。 ○第1回令和5年8月29日(火)午後7時～午後8時30分 オンライン ○第2回令和6年3月8日(金)午後7時～午後8時30分 オンライン	

事業項目		事業内容	基幹型と在支・包括との業務分担	実施状況	備考
在宅医療・介護連携	在宅医療・介護連携に向けた取組	入退院時支援・在宅医療介護連携の調整	<p><基幹型> 入退院支援連携部会に出席</p> <p><在支・包括> ・連携・相談の強化 ・個別事例の支援</p>	<p>・入退院時においても切れ目のない在宅医療と介護の連携体制の構築・推進に関する課題抽出と解決にむけた取り組みを行うことを目的とし、年2～3回程度開催される部会に出席。</p> <p>・武蔵野市在宅医療・介護連携推進協議会の入退院支援部会の部会員として参加し、意見交換を行った。</p> <p>○第1回令和5年 7月31日(水)午後7時～午後8時30分 オンライン「入院時の情報連携シートの活用」「緊急医療情報キットのシートの見直し」「ICTを活用した医療・介護連携時に注意すべき点について」</p> <p>○第2回令和5年 10月31日(火)午後7時～午後8時30分 オンライン (ICT連携部会と共同開催)</p> <p>○第3回令和6年 1月10日(水)午後7時～午後8時30分 オンライン「身寄りのない市民への入退院時の支援について」</p>	
		摂食嚥下支援体制の整備・推進	<p><基幹型> 歯科医師会・地域支援課・関係機関と連携・調整</p> <p><在支・包括> 個別事例の支援</p>	<p>・通所介護事業所での摂食嚥下機能評価を本格化させるべく、2事業所で事業の実施。各事業所では、事前にスクリーニングを行い、当日はスクリーニングをもとに事前カンファレンス、ミールラウンド、事後カンファレンスを行った。また、後日振り返りを兼ねて、歯科医師会、ケアマネジャー、デイサービス、市で意見交換会を行った。</p> <p>①とらいふ武蔵野 【ミールラウンドの実施】 開催日:令和5年9月28日(木) 対象者:4名 【意見交換会】 開催日:令和5年12月8日(金) 参加者:歯科医師会、とらいふ武蔵野、ケアマネジャー、介護者(家族)及び高齢者支援課</p>	

事業項目		事業内容	基幹型と在支・包括との業務分担	実施状況	備考
在宅医療・介護連携	在宅医療・介護連携に向けた取組	摂食嚥下支援体制の整備・推進	<p><基幹型> 歯科医師会・地域支援課・関係機関と連携・調整</p> <p><在支・包括> 個別事例の支援</p>	<p>② 高齢者総合センター 【ミールラウンドの実施】 開催日:令和5年12月6日(水) 対象者:6名</p> <p>【意見交換会】 開催日:令和6年3月26日(火) 参加者:歯科医師会、とらいふ武蔵野、ケアマネジャー、高齢者支援課</p>	
認知症高齢者支援	認知症高齢者支援の取組み	認知症コーディネーター(認知症地域支援推進員)の配置による認知症連携の強化	<p><基幹型> 武蔵野赤十字病院や医師会と連携した認知症初期集中支援チームの支援により、適切な医療・介護につなぐ。</p> <p><在支・包括> 認知症初期集中支援チーム等の仕組みを活用し、認知症の早期発見・早期対応に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 認知症コーディネーター(認知症地域支援推進員)を市内6か所の在宅介護・地域包括支援センターに配置 保健師等連絡会議(旧認知症コーディネーター会議) 在宅介護・地域包括支援センターの保健師による会議を毎月開催し、認知症、フレイル予防等に関する地域づくりや支援体制の整備について情報共有及び協議を行う。 認知症アウトリーチチーム 該当ケースなし(初期集中支援事業により、医療機関への連絡調整、受診手配、かかりつけ医との連携等を行い対応したため。) 認知症サポーターステップアップ講座の企画・運営、認知症相談への同席による適時適切な関係機関との連携、地域への認知症普及啓発の促進を目的とする独自講座の企画などを実施。 	
		在宅医療・介護連携推進協議会の認知症連携部会の運営支援(年3回)	<p><基幹型> 会議開催</p> <p><在支・包括> 会議に出席</p>	<ul style="list-style-type: none"> 医師会、薬剤師会、認知症疾患医療センター等の医療関係者と、居宅介護支援事業者、通所介護事業者等介護事業所関係者、在宅介護・地域包括支援センター職員、行政職員などで構成。 認知症高齢者支援のための在宅医療・介護連携体制の構築・推進に関する事項のうち、主として以下の事項について検討することを目的とし、年2~3回程度開催。 	

事業項目		事業内容	基幹型と在支・包括との業務分担	実施状況	備考
認知症 高齢者支 援	認知症高齢 者支援の取 組み	在宅医療・介護 連携推進協議 会の認知症連 携部会の運営 支援(年3回)	<基幹型> 会議開催 <在支・包括> 会議に出席	<p>○第1回部会:令和5年10月12日(木)オンライン開催 部会員16名出席 今年度の武蔵野市在宅医療・介護連携推進協議会の方針、認知症連携部会のテーマ(案)について検討した。</p> <p>○第2回部会:令和5年12月19日(火)武蔵野プレイスフォーラムにて開催 部会員13名出席 認知症のある人(判断能力、意思決定能力が低下した方も含む)の看取りを振り返り、心残りがあったことをテーマに意見交換会を行った。</p> <p>○第3回部会:令和6年2月1日(木)オンライン開催 部会員11名出席 第2回認知症連携部会の振り返り及び連携ツール(物忘れ相談シート)の改善について意見交換を行い改善した。</p>	
		もの忘れ相談 シートの活用促 進	<基幹型> シートの活用・周知等 <在支・包括> 認知症相談や認知症 症状で医療機関に受 診する際に、シートを積 極的に活用	<p>○もの忘れ相談シート活用件数ー合計117活用(令和5年度) 認知症相談-69件(在支・包括実施分)、7月認知症疾患医療センターによる相談会-3件、9月休日相談会-16件、1月認知症疾患医療センターによる相談会-4件、3月休日相談会-3件、医療機関連携-22件 ※健康長寿のまち武蔵野推進月間において認知症予防財団の専門相談員による電話相談を2日間実施した。また、医師会による休日相談会も実施した。</p>	

事業項目		事業内容	基幹型と在支・包括との業務分担	実施状況	備考
認知症 高齢者支 援	認知症高齢 者支援の取 組み	認知症相談事 業の実施	<p><基幹型></p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症専門相談員による相談会の開催 ・医師による相談会の開催 <p><在支・包括></p> <p>相談に同席し、助言を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・月3回、市役所または在宅介護・地域包括支援センターを会場にした認知症予防財団相談員による認知症相談を実施。令和2年6月より新型コロナウイルス感染症拡大防止のため電話相談も可として実施。 <p>相談件数:69件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年9月2日(土)～9月3日(日)に「健康長寿のまち武蔵野推進月間」において認知症予防財団相談員による電話相談を実施。 <p>相談件数:2件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医師会と協働した認知症相談の実施 <p>令和5年9月10日(日)に「健康長寿のまち武蔵野推進月間」において医師会の医師(もの忘れ相談医)による休日相談会を開催(相談件数:16件)。</p> <p>令和5年3月17日(日)に医師会の医師(もの忘れ相談医)による休日相談会を開催(相談件数:3件)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症疾患医療センターと協働した認知症相談の実施 <p>令和5年7月25日(火)に認知症疾患医療センターによる無料相談会を開催(相談件数:3件)。</p> <p>令和6年1月31日(水)に認知症疾患医療センターによる無料相談会を開催(相談件数:4件)。</p>	
		認知症初期集 中支援チームの 運用	<p><基幹型></p> <p>認知症初期集中支援チームの支援及び評価</p> <p><在支・包括></p> <p>認知症初期集中支援チームの運用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症初期集中支援事業 <p>新規実施3件(検討事例は全体で5件あり。新規実施3件含む)。全事例において、チーム支援検討会議にてチーム支援適応の有無を確認。</p> <p>本人・家族、かかりつけ医、認知症サポート医、武蔵野赤十字病院認知症疾患医療センター相談員、基幹型、在支・地域包括支援センター等がチームとなり認知症の方々の課題解決のため取組を行っている。</p>	

事業項目		事業内容	基幹型と在支・包括との業務分担	実施状況	備考
認知症 高齢者支 援	認知症高齢 者支援の取 組み	認知症に関する 普及・啓発	<p><基幹型></p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症サポーター養成講座等普及啓発方法の検討 ・チームオレンジの活動について検討 <p><在支・包括></p> <ul style="list-style-type: none"> 基幹型と連携して普及啓発を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症サポーター養成講座の実施(令和5年度) 講座開催数:29回(内:定例実施9回) 延受講者数:681名 ・認知症サポーターステップアップ講座の実施(連続講座) 令和4年度までは新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から内容を精査し、3回の連続講座として開催していたが、令和5年度は4回開催した。 <p>第1回 『認知症の方の気持ちを知ろう』 開催日 令和5年8月24日(木) 講師 多摩若年性認知症総合支援センター 来嶋みのり氏 他若年性認知症当事者1名 受講者 30名</p> <p>第2回 『同じ空間で過ごし、話を聞こう』 開催日 施設訪問:令和5年10月(詳細は施設による) 振り返り:令和5年10月31日(火) 受講者 9名</p> <p>第3回 『認知症の方への声掛けを学ぼう』 開催日 令和5年11月30日(木) 講師 日本社会事業大学教授 下垣 光 氏 受講者 24名</p> <p>第4回 『地域で何ができるか考えてみよう』 開催日 令和6年1月19日(金) 受講者 11名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サポーターズミーティング 	

事業項目		事業内容	基幹型と在支・包括との業務分担	実施状況	備考
認知症 高齢者支 援	認知症高齢 者支援の取 組み	認知症に関する 普及・啓発	<p><基幹型></p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症サポーター養成講座等普及啓発方法の検討 ・チームオレンジの活動について検討 <p><在支・包括></p> <p>基幹型と連携して普及啓発を実施</p>	<p>サポーターステップアップ講座を受講したサポーターによる自主的な活動を促進するために設置した。今後はチームオレンジとして活動することを見据え、認知症カフェを実施。</p> <p>第1回 日時:令和5年4月27日(木) 場所:プレイス4階フォーラムA 参加:9名</p> <p>第2回 日時:令和5年6月7日(水) 場所:スイングホール 10階スカイルーム1 参加:7名</p> <p>第3回 日時:令和5年8月3日(木) 場所:スイングホール 11階レインボーサロン A 参加:7名</p> <p>第4回 日時:令和5年9月8日(金) 場所:スイングホール 11階レインボーサロン A ※台風により中止</p> <p>第5回 日時:令和5年9月29日(金) 場所:スイングホール 11階レインボーサロン A 参加:9名</p> <p>第6回 日時:令和5年10月30日(月) 場所:市役所 603会議室 参加:6名</p> <p>第7回 日時:令和5年12月4日(月) 場所:市役所 812会議室 参加:4名</p> <p>第8回 日時:令和6年2月8日(木) 場所:スイングホール 11階レインボーサロン A 参加:8名</p>	

事業項目		事業内容	基幹型と在支・包括との業務分担	実施状況	備考
認知症 高齢者支 援	認知症高齢 者支援の取 組み	認知症に関する 普及・啓発	<p><基幹型></p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症サポーター養成講座等普及啓発方法の検討 ・チームオレンジの活動について検討 <p><在支・包括></p> <p>基幹型と連携して普及啓発を実施</p>	<p>・「認知症カフェ」の実施</p> <p>第1回 ほっとサロン武蔵野 日時:令和5年10月8日(日) 場所:スイングホール11階レインボーサロンA 参加:サポーター 8名 参加者 22名</p> <p>第2回 ほっとサロン武蔵野 日時:令和6年3月7日(木) 場所:スイングホール11階レインボーサロンA 参加:サポーター 8名 参加者 16名</p> <p>○グリーンカーテン</p> <p>・令和5年6月7日から、地域の高齢者のフレイル予防及び認知症のある方の社会参加の機会として、おおむね65歳以上の方、認知症のある65歳未満の方を対象に市役所1階正面玄関のゴーヤへの水やりとラジオ体操を実施した。夏季期間終了後はプランターに花を植え、育てることに変更して事業を実施した。名称を「ゴーヤのカーテンお助け隊」から「いきいきガーデンサポーター」と改称した。</p> <p>・地域認知症講座の実施</p> <p>平成28年より、東京慈恵会医科大学精神医学講座教授の繁田雅弘医師を講師として実施している。市内のコミュニティーセンター及び在宅介護・地域包括支援センターを会場として使用しており、八幡町コミュニティーセンター以外の全センターで実施している。令和5年は実績はなかった。</p>	

事業項目		事業内容	基幹型と在支・包括との業務分担	実施状況	備考
生活支援 体制整備	生活支援 コーディネーターや協議 体と連携した 取組み	生活支援コー ディネーターを 中心とした地域 の自主的な取組 の支援 地域住民が自主 的に運営する多 様な通いの場を 支援	<p><基幹型> 地域の関係機関や団 体との連携</p> <p><在支・包括> いきいきサロン等の社 会資源の立ち上げ支 援、事業の継続支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・通いの場(テンミリオンハウス、いきいきサロン、健康やわら体操、不老体操、地域健康クラブ)への参加者実人数(令和5年度) テンミリオンハウス 1,080 人(登録者数)、いきいきサロン 400 人(登録者数) 健康やわら体操 123 人、不老体操 373 人、地域健康クラブ 1,140 人 計 2,743 人 ・生活支援コーディネーターの活動実績は資料7のとおり 	
		生活支援サービ ス整備に関する 定期的な情報共 有や連携強化 等のための協議 体と連携	<p><基幹型></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活支援コーディ ネーター連携会議の 開催 ・地域包括ケア推進協 議会への報告 <p><在支・包括></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活支援コーディ ネーター連携会議に 出席 ・各地域での協議会へ の参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回地域包括ケア推進協議会(第1層協議体)を令和5年6月27日(火)に開催(WEB併用)。 ・第2回地域包括ケア推進協議会(第1層協議体)を令和5年10月20日(金)に開催(WEB併用)。 ・第3回地域包括ケア推進協議会(第1層協議体)を令和6年1月22日(月)に開催(WEB併用)。 ・生活支援コーディネーター連携会議 <p>第1層及び第2層の生活支援コーディネーターによる会議を定期的に行い、地域の自主的な取組みや、生活支援コーディネーターの活動を通しての地域課題等についての情報共有、検討を行った。 5月・7月・9月・11月・1月・3月に実施。</p>	

事業項目		事業内容	基幹型と在支・包括との業務分担	実施状況	備考
一般介護 予防	介護予防推 進にむけた 取り組み	フレイル予防・ 介護予防の取り 組みを推進	〈基幹型〉 健康寿命延伸のために フレイル予防・介護予 防事業の企画、実施 〈在支・包括〉 基幹型と連携して、フレ イル予防・介護予防事 業を実施	資料8-2 14 ページ参照	
		介護予防事業 連絡調整会議の 開催(年1回)	〈基幹型〉 フレイル予防・介護予 防のきっかけづくりや実 際の取り組みについ て、庁内介護予防事業 関連部署、団体と検 討、実施	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者総合センター(社会活動センター)、健康づくり事業団(健康づくり支援センター)、健康課、生涯学習スポーツ課、高齢者支援課の担当職員による介護予防事業連絡調整会議担当者会議の実施。 第1回 令和5年5月11日(木)開催 ・9月を「健康長寿のまち武蔵野推進月間」とし、高齢者を中心に幅広く市民への認知症に対する正しい理解及びフレイル予防に関する普及・啓発を主眼とした講演会等の事業を実施した。 ・介護予防・健康づくり事業についての情報交換と周知方法を検討。 	

事業項目	事業内容	基幹型と在支・包括との業務分担	実施状況	備考
指定介護予防支援	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険における予防給付等の対象となる要支援者への介護予防サービス計画の作成及び関係機関との連絡調整 ・介護保険制度の適切な運営による自立支援・重度化防止の推進 	<p>〈基幹型〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定介護予防支援事業所として、契約・サービス担当者会議への出席・給付管理業務を実施 ・軽度者（要支援1・2、総合事業対象者）のサービス担当者会議全件に立ち合い、サービスの質の担保を図る <p>〈在支・包括〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定居宅介護支援事業所として受託 	<p>介護予防マネジメント(事業対象者)および介護予防サービスの利用者のサービス担当者会議に出席し、介護予防等に関する助言や提案を行った。ケアマネジャーによる、自立支援に資するケアマネジメントが提供されるよう、毎週1回基幹型包括で介護予防検討会議を実施。令和5年4月から令和6年3月末まで47回 326件の検討を行った。</p>	
	災害時避難行動支援体制の推進	<p>〈基幹型〉</p> <p>介護予防支援事業所としての業務継続計画の見直し、作成</p>	<p>感染症や自然災害が発生した場合であっても、介護サービスが安定的・継続的に提供されることが重要である。業務継続計画を見直し、作成した。</p>	
感染症対策予防	感染症対策予防の推進	<p>〈基幹型〉</p> <p>庁内関係部署と連携を図り、感染対策予防等の普及啓発及び実施</p>	<p>感染症対応レスキューヘルパー、いきいき支え合いヘルパーそれぞれを対象とした感染症マニュアル(第2版)を活用した。</p>	